

みこのみこと  
皇子尊の宮の舎人等の働しび傷みて作る歌二

十三首

一七一番

高光る 我が日の皇子の 万代に 国知らさまし  
島しまの宮みやはも

一七二番

島しまの宮みや 上かみの池いけなる 放はなち鳥どり 荒あらびな行ゆきそ 君きみ  
いまさずとも

一七三番

高光たかひかる 我わが日ひの皇み子この いましせば 島しまの御み門かど  
は 荒あれざらましを